

ヘッドエンド装置内蔵用  
ファンユニット  
品番 HFB-9001  
取扱説明書

**DXアンテナ株式会社**

このたびは、DXアンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。

この製品を正しく理解し、ご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。

## ◎安全上のご注意



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



### 警告

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



- この製品は屋内専用です。屋外で使用したり、水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどで使用しないでください。火災や感電の原因となります。



- この製品の電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。火災や感電の原因となります。



電源コードが傷んだときは（心線の露出、断線など）お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

- 万一内部に水などが入った場合は、まずこの製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



- この製品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。



- この製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにこの製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。



- この製品のヒューズは容量および形状の違うものを使用しないでください。  
火災や感電の原因となります。



- 雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。  
感電の原因となります。



## 注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- この製品を暖房機の付近や高温になる場所では使用しないでください。火災や破損の原因となることがあります。



- この製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。  
火災や感電の原因となることがあります。



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となることがあります。



- お手入れの際には、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。  
お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。



<販売店・工事店様の安全上のご注意—お客様もお読みください>



## 警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。  
火災や感電の原因となります。



- この製品の電源プラグは3ピンプラグです。保護接地コンタクトを持った、3ピンコンセントに挿入してください。また、この製品のアース端子(GND端子)は、電源コンセントが2ピンであるなど接地が必要な場合に、直径1.6ミリメートルの銅線で接地してください。接地しないと保護接地の効果がなくなり、火災や感電の原因となります。



- この製品は屋内専用です。屋外で使用したり、水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどで使用しないでください。火災や感電の原因となります。



- この製品を暖房機や加湿器のそばなど高温になる場所、湯気が当たるような場所に設置しないでください。燃えたりして、火災や破損の原因となります。



- この製品のヒューズは、同一規格の容量および形状のものをご使用ください。また交換の際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や故障の原因となります。



- 取り付けネジや、ボルトや接合は、指定している力(トルク)で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



# 目 次

1. 機器概要 .....	2
2. 特 長 .....	2
3. 規格とブロックダイアグラム	
(1) 規 格 .....	2
(2) ブロックダイアグラム .....	3
4. 操 作 説 明	
(1) 前面パネルの操作説明 .....	4
(2) 背面パネルの操作説明 .....	4
(3) 製品上面部の操作説明 .....	5
5. モータファンの点検と交換	
(1) 点 検 .....	6
(2) 交 換 .....	6
6. 使用上の注意 .....	7
7. 付 属 品 .....	7
8. 外 観 図 .....	8

## 1. 機器概要

この製品は、ヘッドエンド装置に内蔵され、各ヘッドエンド機器（主にサブラックヘッドエンド装置）を強制的に空冷するためのファンユニットです。

## 2. 特長

- (1) サブラックヘッドエンド装置の動作を安定させるために、強制空冷します。
- (2) この製品には6台のモータファンを使用し、それぞれ1台ずつの交換が可能です。（モータファン個別の異常を表示するアラームも内蔵しています。）
- (3) パネル前面のアラームLEDにより、モータファンの回転異常を表示します。
- (4) アラーム出力端子により、モータファンの動作状態を出力します。
- (5) ラックパネルはJIS規格に適合しています。

## 3. 規格とブロックダイヤグラム

### (1) 規格

項目（単位）	仕様
入力電圧(V)	AC100±10(50/60Hz)
消費電力(W)	110以下
外形寸法(mm)	49(H)×480(W)×460.3(D)

・規格は、改良により変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

(2) ブロックダイヤグラム

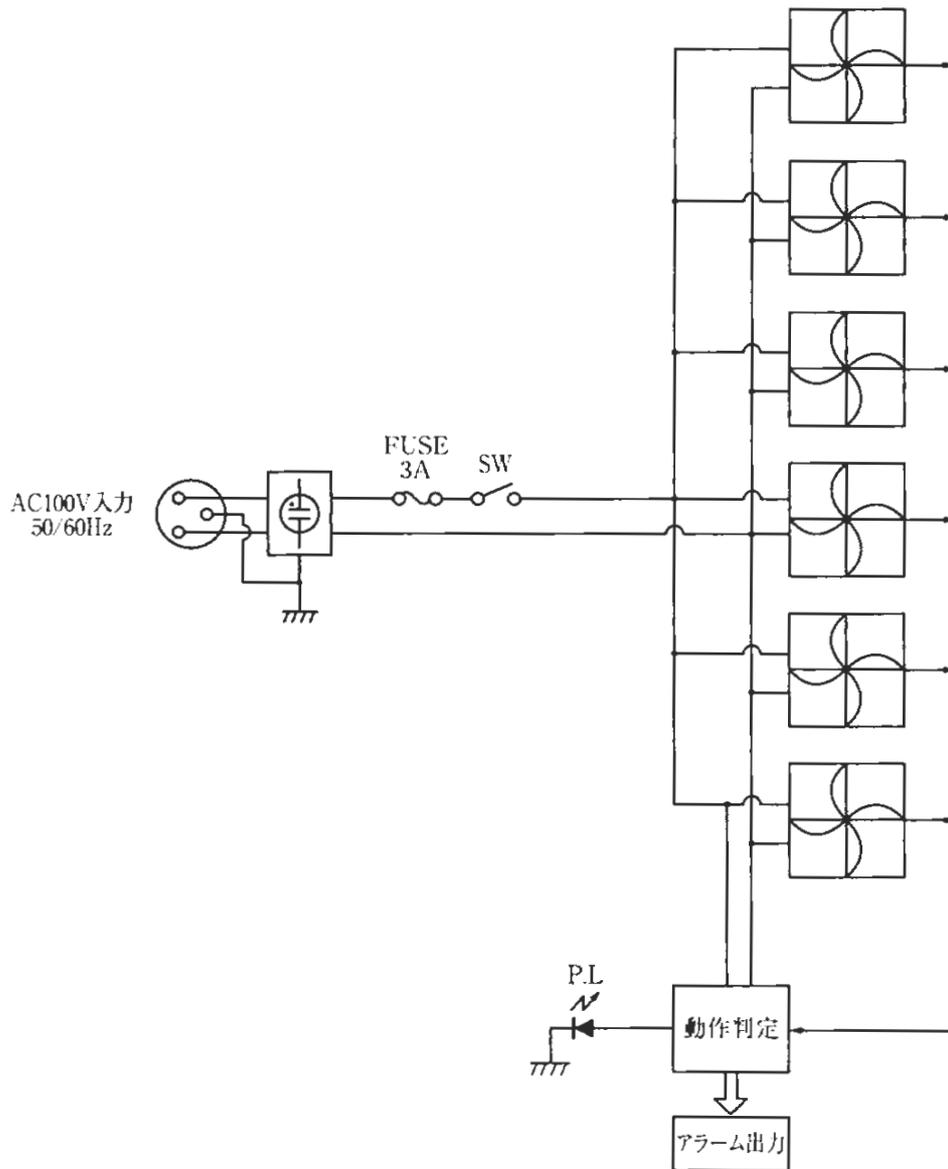


図-1 ブロックダイヤグラム

## 4. 操作説明

### (1) 前面パネルの操作説明

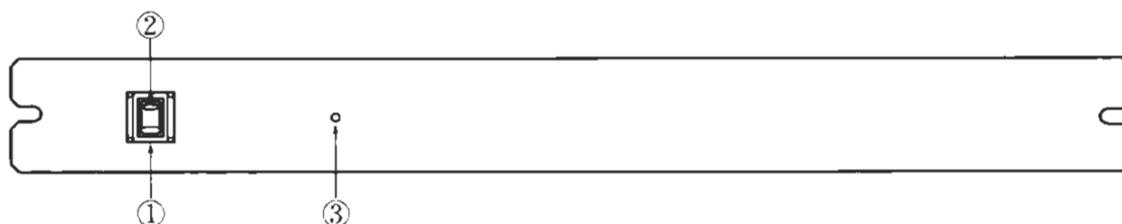


図-2 前面パネル

#### ① 電源スイッチ [POWER]

このスイッチの操作により、この製品を“ON”“OFF”することができます。

#### ② 電源パイロットランプ

電源スイッチ①をONにすると、スイッチに内蔵されたLEDランプが点灯し、ファンユニットが動作状態であることを示します。

#### ③ アラームランプ

この製品に内蔵したモータファンの機能が低下するとランプ（赤色）が点灯します。

※アラームランプが点灯した場合、この製品に内蔵のモータファンの点検および、交換をしてください。

### (2) 背面パネルの操作説明

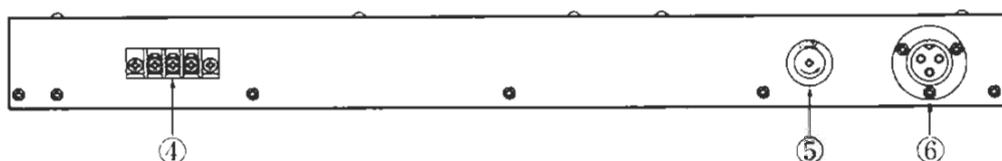


図-3 背面パネル

#### ④ アラーム出力端子

この製品の動作状態がこの端子により確認できます。



なお、この端子の接点容量は、最大DC 24 V 1 A、AC 125 V 0.5 Aです。この値以下でお使いください。

	C-1間	C-2間
電源OFF時	開	閉
モータファン 回転異常時	開	閉
モータファン 回転正常時	閉	開

⑤ ヒューズ (3 A)

同一規格容量および、形状のものを使用してください。

規定以外のものを使用しますと、故障の原因となることがあります。

また、交換の前には必ず電源コードを電源から抜いてください。

⑥ AC 100 V 入力端子 (AC 100 V 50/60Hz)

AC 100 V の入力端子です。付属の電源コードを使用して、保護接地コンタクトを持った 3 ピンコンセントに接続してください。

(3) 製品上面部の操作説明

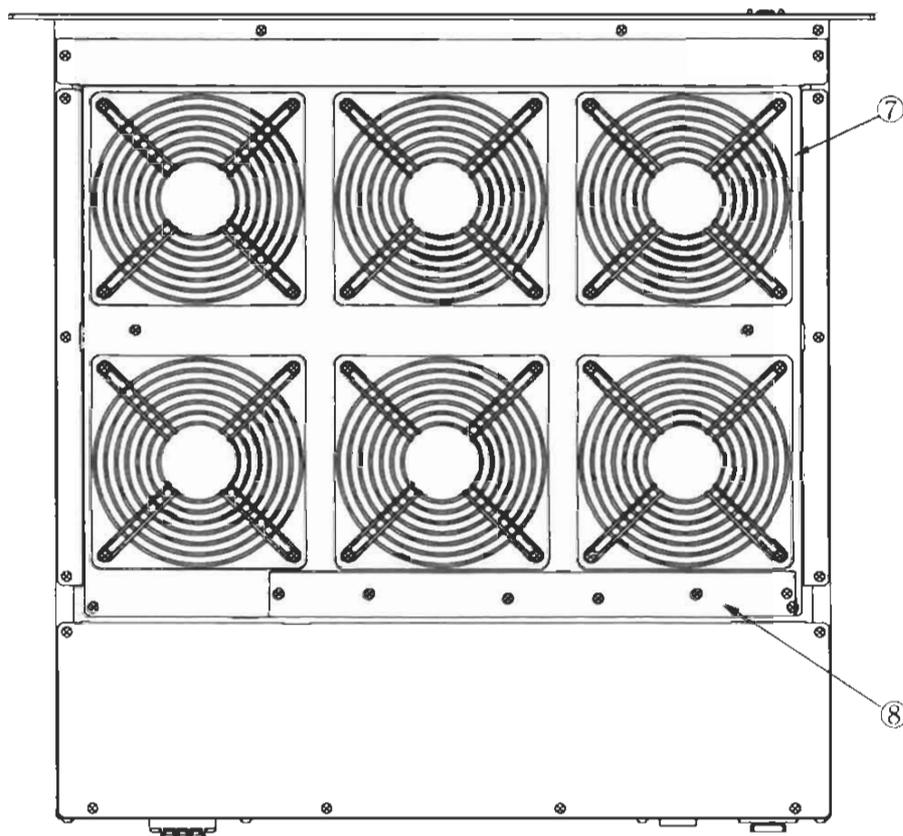


図-4 上面部

⑦ モータファン (6 台)

⑧ アラーム検知用端子部

前面アラームランプ③の点灯もしくは、背面アラーム出力端子④で、この製品の異常を検知した場合には使用します。コネクタなどの保護のために、透明なカバーをしています。モータファンの交換時には、カバーをはずし交換してください。

## 5. モータファンの交換

この製品には、モータファンを使用しており、このファンには寿命があります。

この寿命は、通常で30,000時間程度ですが、ほこりや、異物の巻き込みにより、ファンの安定した回転が得られなくなることがあります。

前面アラームランプ③の点灯、または、背面アラーム出力端子④で、この製品の異常を検知した場合は、以下の手順で点検、交換を行なってください。

また、システム全体の安定した運用のために、定期的な点検および、寿命時間を目安としたモータファンの交換をお願いします。付属の注意シールに、設置年月日を記入のうえ、この製品周辺のわかりやすい場所に貼り付け、交換時期の日安にご利用ください。

### (1) 点検

異常を検知した製品をヘッドエンド装置から取りはずし、平坦で安全な場所で点検を行なってください。

- ① AC 100 V 入力端子に電源コードを接続することで、AC 100 V 50/60 Hz を給電し、電源スイッチをONにします。モータファンが回転し、約20秒後に動作が安定します。

**注意**：動作中のファンに指などを入れないでください。

けがの原因となります。

- ② 前面アラームランプ③が点灯し、異常検知状態であることを確認してください。

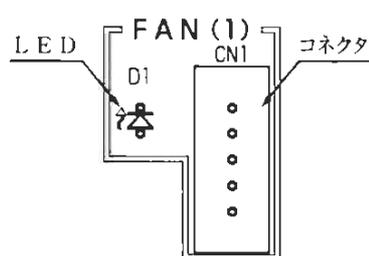
異常が検知されない場合、前面アラームランプ③（赤）は点灯せず、アラーム検知用端子部④にある動作表示LED（緑色）6個がすべて点灯します。

#### ③-1. 異常が検知されない場合

この点検で、異常が検知されない場合

1. ヘッドエンド装置への設置状態を確認してください。  
(この製品の取付位置の上、下から異物が飛び出していないかなど)
2. ヘッドエンド装置の給電電圧を確認してください。  
(AC 100 V ± 10 % 以内)

#### ③-2. 異常が検知された場合



アラーム検知用端子部④にある動作表示LED（緑色）が消えているアラーム検知コネクタに接続されているモータファンが異常です。モータファンの交換をしてください。

※この製品には、6個のモータファンを使用しています。点検により異常が確認された場合、6個全てのモータファンの交換をお勧めします。

## (2) 交換

**注意**: モータファンの交換の前には、必ず電源コードを電源から抜いて、この製品に電源が供給されない状態で行なってください。  
感電、事故の原因となります。

### 1) 取りはずし方法

- ① アラーム検知用端子部のカバーをはずします。
- ② 交換するモータファンにつながっているアラーム検知用コネクタをはずします。
- ③ モータファンを固定しているネジ4本を取りはずします。
- ④ モータファン上部のフィンガーガードを取りはずします。
- ⑤ モータファンに接続しているACコードをモータファンのコネクタから抜き取ります。  
以上の作業でモータファンを取りはずすことができますが、アラーム探知コネクタのコードなどがタイラップで固定されている場合は、タイラップを切り取ってください。

### 2) 取り付け方法

取り付けは、取りはずし方法の逆の作業で取り付けてください。

モータファンの風向きは、ユニット上面方向となるように取り付けてください。

なお、4本のモータファン固定ネジは、約0.6N・mで、均一に締め付けてください。

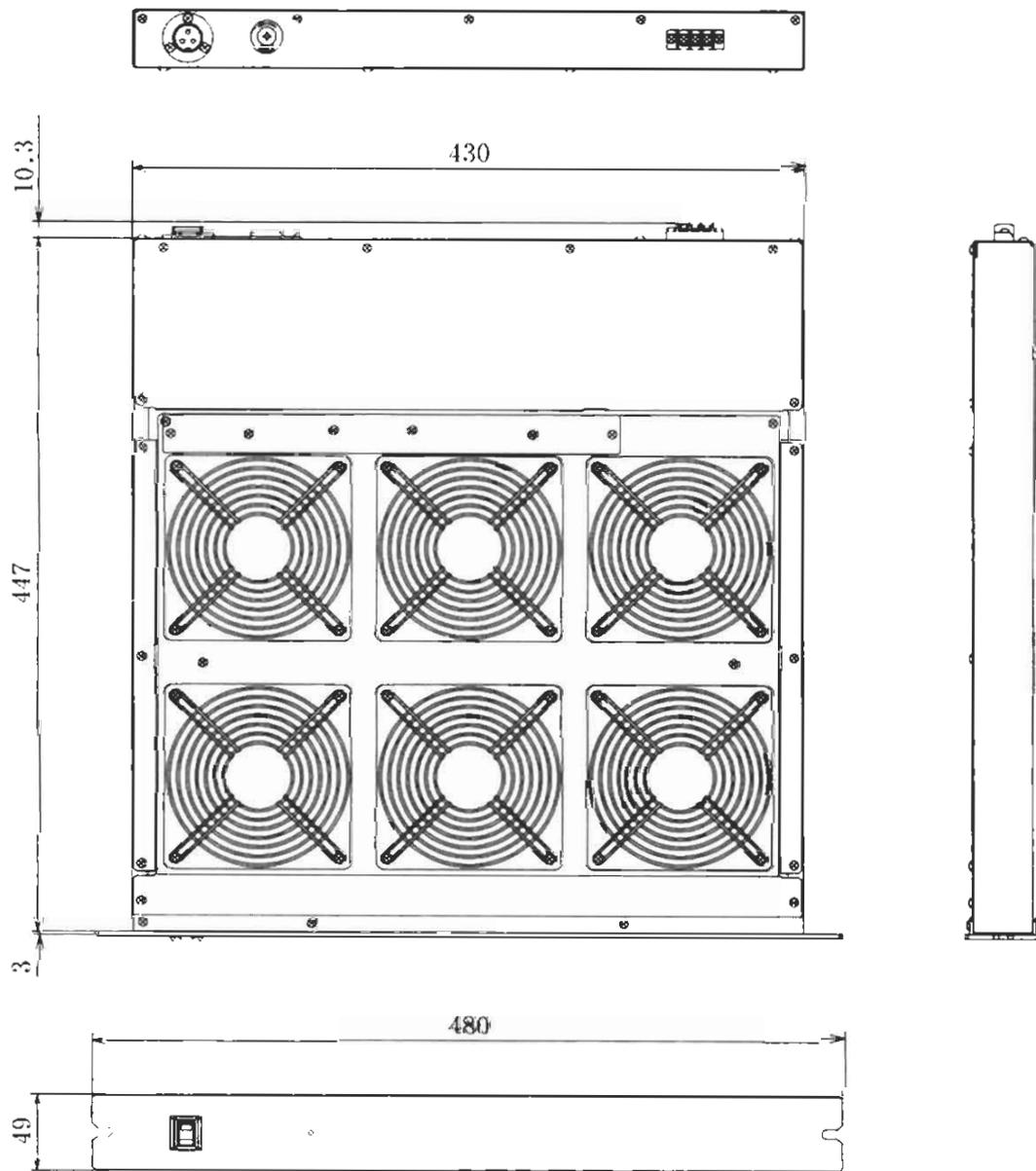
## 6. 使用上の注意

- (1) 本器は、A C 100 Vrms 以下の単相電源でご使用ください。また、本器は、アースラインのある 3 線式電源コードを通して接地されます。電源プラグは必ず保護設置コンタクトを持った 3 ピンコンセントへ挿入してください。
- (2) ヒューズは同一規格の容量および形状のものをご使用ください。また交換の際には、必ず電源コードを電源プラグから抜いてください。
- (3) 電源スイッチをON状態としても電源パイロットランプが点灯しない場合は、背面A C 100 V 3 ピンメタルコネクタの未挿入、またはヒューズの断線が生じていることが考えられますので、コネクタ、ヒューズの確認をお願いします。なお、ヒューズを新しいものに交換しても電源パイロットランプが点灯しないかまたは、交換したヒューズが断線する場合は、当社サービスの係員にご連絡くださるようお願いいたします。

## 7. 付 属 品

ヒューズ (3A) .....	1
電源コード.....	1
注意シール.....	1
(+)丸皿小ネジ.....	2
ローゼットワッシャー.....	2
注) ラック組み込み時は員数が異なります。	

## 8. 外觀圖



(単位：mm)

HFB-9001